

私たちの

SDGs

～17の目標達成に向けた取り組み～

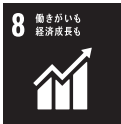
第12回

チャレンジ!!



ゼロカーボン

今回の
主な目標



SDGsは、2015年9月に国際サミットで採択された『誰一人取り残さない、持続可能で、より良い社会』の実現を目指す世界共通の目標で、2030年までに17の目標を達成し、より良い未来を築くことを目指しており、本市においてもかけがえのない地球環境を守りながら、誰もが自分らしく、住みやすい社会の実現に向け、福祉、環境、経済、教育などさまざまな分野の施策を通してSDGsを推進しています。

問い合わせ 企画調整グループ (☎05 1 1 2 2)
環境対策グループ (☎05 2 9 5 8)

なくそう、荷物の再配達!!

市では、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする『ゼロカーボンシティ』への挑戦を表明しました。ゼロカーボンシティに向けた取り組みの一つとして、宅配で使用するトラックなどから排出される温室効果ガスの排出量を減らすため、登別市・国土交通省北海道運輸局・佐川急便(株)・日本郵便(株)・ヤマト運輸(株)の5者で『再配達削減チャレンジ』を宣言し、協働で荷物の再配達を減らす取り組みを推進しています。

荷物の再配達の件数はどのくらい?

国土交通省の調査では、全体の配達件数の約1割が再配達で、令和4年度の荷物の配達件数から換算すると、年間で約5億個の荷物が全国で再配達されています。また、再配達のトラックから排出される二酸化炭素の量は年間でおよそ25.4万トと試算されており、地球環境に対して影響を与えていることが分かります。

再配達の削減に向けた市の取り組み

○職場受取の推進

市内企業や市役所内にポスターを掲示し職場受け取りを推進しています。



○宅配ボックス購入補助金

令和4年度より、不在にしている場合でも、荷物を受け取ることができる『宅配ボックス』の補助事業を実施しています。宅配ボックスは自宅敷地内にアンカーや接着剤で固定する『固定型』と必要な時だけワイヤーで玄関ドアなどに固定する『簡易型』があります。簡易型は構造物に穴を開ける必要がないため、アパートなどの借家に居住している方も利用することができます。

○再配達削減に向けた周知啓発チラシの配付

宅配事業者と連携して、宅配事業者の荷物の受取日時や場所の指定ができるアプリの紹介や荷物の職場受取を推奨するチラシを、不在票を投函する際などに配布しています。



【固定型】



【簡易型】

宅配ボックス購入補助金の事前申請受付中です!

受付期限 3月22日(金)

補助率 10分の10

補助上限額 取扱事業者：1万円まで インターネットサイト：8千円まで

※詳しくは市公式ウェブサイトか広報のぼりべつ2月号をご確認ください。
※新たにインターネットサイトから購入する宅配ボックスも対象としました。



▲市公式
ウェブサイト